

2023 年制定
土木構造物共通示方書
【本編 目次】

1 章 総 則	1
2 章 用語の定義	3
2.1 一 般	3
2.2 用語の定義	3
3 章 土木における技術者と契約	6
3.1 土木技術者の基本	6
3.1.1 土木技術者の役割	6
3.1.2 土木技術者の持つべき知識と能力	7
3.1.3 土木技術者の倫理	8
3.2 契約と土木技術者の権限および責任	10
3.2.1 契 約	10
3.2.2 契約とリスクの対応	11
3.2.3 契約における統括技術者の権限と責任の明確化	12
4 章 土木構造物の機能と性能の確保	14
4.1 一 般	14
4.2 土木構造物の目的	15
4.3 機能と性能の確保	16
4.4 要求性能と性能評価	18
4.5 設計供用期間	20
4.6 作 用	21
4.6.1 一 般	21
4.6.2 作用の設計値	24
4.6.3 作用の種類	25
4.6.4 作用の組合せ	27
4.7 想定外の事象と危機耐性	28
5 章 土木構造物の設計・施工・維持管理	33
5.1 一 般	33

5.2	設計の基本	35
5.2.1	一般	35
5.2.2	構造計画	37
5.2.3	性能評価	38
5.3	施工の基本	39
5.4	維持管理の基本	41
6	章 構造計画	46
6.1	一般	46
6.2	構造計画の基本	47
6.2.1	一般	47
6.2.2	調査	51
6.2.3	構造計画の留意点.....	53
6.2.4	最適な構造形式の選定.....	53
6.2.5	新技術の導入.....	54
6.3	構造物の性能確保	55
6.3.1	一般	55
6.3.2	危機耐性の考慮.....	60
7	章 性能評価	61
7.1	一般	61
7.2	性能評価の方法	64
7.3	応答値と限界値の算定	65
7.4	不確定性の考慮.....	66
7.5	想定外の事象に対する危機耐性への対応	67
8	章 各種作用	69
8.1	一般	69
8.2	固定作用	69
8.3	地盤作用（土圧・強制変位など）	70
8.4	構造的作用（プレストレス力など）	70
8.5	走行作用	71
8.6	風作用	72

8.7	地震作用および地震随件事象による作用	73
8.8	温度作用	76
8.9	雪作用	77
8.10	降雨作用および降雨随件事象による作用	78
8.11	水圧作用（静水圧・浮力）	80
8.12	波浪，流れおよび津波による作用	80
8.13	火災作用	81
8.14	衝撃作用	82
8.15	環境作用	83
8.16	その他の作用	84

2023 年制定
土木構造物共通示方書
【付属資料 目次】

付属資料 1	土木技術者の呼称と役割.....	87
付属資料 2	土木技術に関する資格.....	89
付属資料 3	土木技術者の教育.....	94
付属資料 4	設計, 施工, 維持管理における三者関係.....	97
付属資料 5	想定外の事象と危機耐性の検討方法に関する資料.....	104
付属資料 6	数値解析法の検証と妥当性確認の考え方.....	109
付属資料 7	作用各論的付録.....	118
A	地震作用.....	118
A-1	地震作用 (参照地震動) 設定のための基礎知識.....	132
A-2	レベル 2 地震動の設定方法.....	139
A-3	確率論的地震ハザード解析.....	154
A-4	参照地震動の空間変動.....	159
A-5	液状化判定と数値解析.....	165
B	走行作用.....	188
B-1	設計用活荷重の試算例および基礎データ.....	191
B-2	走行作用モデルおよび作用効果の検討例.....	213
C	風作用.....	220
C-1	基本風速の設定法 ^{1),2)}	225
C-2	風の変動特性に関するモデル化.....	233
C-3	風作用モデル.....	239
C-4	風荷重の算出の詳細.....	244
C-5	作用効果の補足.....	253
D	地盤作用.....	255
E	波浪および流れによる作用.....	266
E-1	極値波浪統計.....	282
E-2	波の変形.....	285
E-3	波頂水位および波の運動力学特性.....	290
E-4	異常潮位に関する統計データ.....	293

F 津波	297
F-1 橋梁等に作用する津波波力	312
G 衝撃作用	337
H 環境作用	344
I 疲労の影響.....	363
J 降雨作用	366